

記入例

別紙様式（第5条第2項関係）

（用紙 日本工業規格 A4 縦型）

認定科目表に掲げる授業科目を履修したものとみなす証明書

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構長 殿

別添の者については、学則等の規定に基づき、認定科目表の授業科目を履修したものとみなしたことを証明します。

事前確認のための証明書については学校長名による署名は不要です。当機構による事前確認後、学位授与申請において申請書類として提出する際に署名してください。なお、公印は任意としております。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇高等専門学校
学校長 〇〇 〇〇

記入例1

(別添)

(用紙 日本工業規格A4横型)

【作成者(教員)氏名】 小平 一郎

【対象となる学生氏名】 機構 太郎

《読替先》

【学校名】 ○○工業高等専門学校

【専攻科/学科名】 生産システム工学専攻/電気電子システム工学科

【科目表の専攻の区分】 電気電子工学

学校名・専攻科/学科名は略さず正しく記入してください。

《読替元》

【学校名】 △△工業高等専門学校

【専攻科/学科名】 産業システム工学専攻/電子制御工学科

【科目表の専攻の区分】 電気電子工学

履修単位の科目については、チェックボックスをクリックし、チェックを入れてください。

学生が履修したものとみなす							学生が履修した授業科目							備考						
授業科目名		履修年次	単位数		認定科目表の科目区分		シラバス該当頁	授業科目名		履修年次	単位数		認定科目表の科目区分		シラバス該当頁					
電子回路Ⅰ		本4	2	☒	A群	電気電子工学の基礎となる科目	1	パルス回路		本4	2	☒	A群	電気電子工学の基礎となる科目	1					
電子工学		本5	2	☐	A群	電気工学に関する科目	2	電子工学Ⅰ		本4	1	☐	A群	電気工学に関する科目	2					
								電子工学Ⅱ		本4	1	☐	A群	電気工学に関する科目	3					
卒業研究		本5	8	☐	B群	電気電子工学に関する実験・実習科目	4	卒業研究		本5	8	☐	B群	電気電子工学に関する実験・実習科目	4					
科学技術英語		本4	1	☐	関連	工学の基礎となる科目	6	工業英語		本4	1	☐	関連	工学の基礎となる科目	6					
保健体育Ⅳ		本4	1.4	☐		専攻外科目	7	保健・体育Ⅲ		本3	2	☒		専攻外科目	7					
				☐								☐								
読替元と読替先の授業科目の単位の計算基準が異なる場合（一方が履修単位で、もう一方が学修単位の場合）読替先の授業科目の単位の計算基準により単位数を換算します。具体的な算出方法は、当機構ウェブサイトに掲載の「認定科目表に掲げる授業科目を履修したものとみなす際の手続き及び方法について」9ページをご参照ください。							読替先の科目表に記載の単位数が10単位であっても、読替元の単位数が8単位の場合、小さい方の単位数を履修したものとみなすので、8単位と記入してください。							専攻外科目は、「認定科目表の科目区分」欄のうち右側の欄に記載するようにしてください。						
														履修単位から学修単位への読替						

記入例2(読替元が大学単位の場合)

(別添)

(用紙 日本工業規格A4横型)

【作成者(教員)氏名】 小平 一郎

【対象となる学生氏名】 機構 次郎

《読替先》

【学校名】 ○○工業高等専門学校

【専攻科／学科名】 生産システム工学専攻／電気電子システム工学科

【科目表の専攻の区分】 電気電子工学

学校名・専攻科／学科名は略さず正しく記入してください。

《読替元》

【学校名】 △△大学

【専攻科／学科名】 工学部

【科目表の専攻の区分】

学校名・学部名等は略さず正しく記入してください。

履修単位の科目については、チェックボックスをクリックし、チェックを入れてください。

学生が履修したものとみなす						学生が履修した授業科目							備考	
授業科目名	履修年次	単位数		認定科目表の科目区分		シラバス該当頁	授業科目名	履修年次	単位数		認定科目表の科目区分			シラバス該当頁
情報基礎論	専 1	2	☒	A群	情報通信工学に関する科目	1	コンピュータのしくみ	3	2	☐			1	学修単位から履修単位への読替
応用化学	専 2	2	☐	関連	工学の基礎となる科目	3	基礎化学	4		☐			3	
環境科学	専 2	2	☐	関連	工学及び周辺技術等に関する科目	5	人文地理学	4	読替元の授業科目が大学単位の場合、読替元の履修単位のチェック及び「認定科目表の科目区分」欄の記載は不要です。				5	
			☐							☐				
			☐							☐				
計		6.0					計		6.0					

読替元の授業科目が大学単位の場合、読替元の履修単位のチェック及び「認定科目表の科目区分」欄の記載は不要です。

(注)

- 1 確認に必要な書類として、認定科目表（様式第3号）及びシラバス等を添付すること。
- 2 高等専門学校設置基準第17条第3項に基づく単位（30単位時間の履修を1単位とする）の場合、「単位数」の□欄にレ点を記入すること。

添付する確認書類
①大学において履修した授業科目について修得した単位を当該専攻科において開設している授業科目の履修により修得したものと取り扱うことを規定した学則等
②読替先の授業科目が記載されている認定科目表(様式第3号)
③読替先及び読替元の授業科目のシラバス